



【上海市長による横浜駅視察の様子】

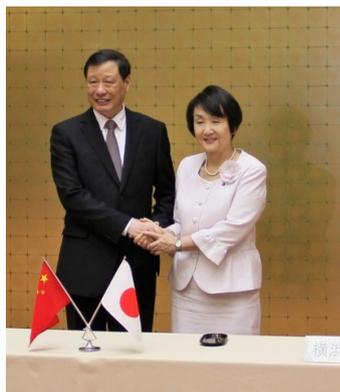
ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 6 月 18 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp

「横浜上海友好都市提携 45 周年」に伴い、上海市長が来浜されました

本年、横浜市と中国・上海市は友好都市提携 45 周年を迎えています。



6 月 2 日、上海市より応勇（おうゆう）市長が横浜を訪問され、林文子市長との間で会見及び「友好交流事業に係る協定書」の署名式を行いました。



双創（イノベーション＋起業）、スマートシティ、スポンジシティ、MICE、高齢者介護からごみの分別に至るまで、多くの議題について意見が交わされ、協定書に

は、教育分野での交流が新たに追記されました。



その後、応市長は、ターミナル駅の立体利用、商業利用等の事例視察のため、みなとみらい駅から地下鉄に乗り、人込みあふれる横浜駅をご覧になりました。また、横浜の特別養護老人ホームも視察されました。

45 年の節目に、横浜と上海が共通の課題を通じて、更に関係を強化していく訪問となりました。



フィリピン・メトロセブから研修員が横浜を訪問しました

横浜市は、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施している「メトロセブ都市交通システム



開発マスタープランプロジェクト」に協力し、メトロセブの都市交通の改善と、都市圏の健全な発展を支援しています。このプロジェクトの一環として、5 月 21 日・22 日の 2 日間で、フィリピン・メトロセブから 7 人の研修員が横浜市を訪問しました。



研修員は横浜市の都市交通施策について都市整備局と、市営地下鉄の運営について交通局の職員と意見交換を行った他、横浜市の公民連携による国際協力（Y-PORT 事業）や市内企業が有する交通分野の技術紹介を受けました。



また、市営地下鉄に乗りながらの説明を受けた他、市営地下鉄センター北駅やみなとみらい駅の施設等を視察し、駅前広場や駅周辺開発等の紹介に耳を傾けました。